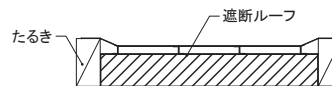


遮断ルーフGr 施工概要

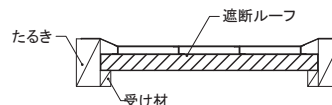
■本施工の主なポイント

- ①遮断ルーフGrはたるきとたるきの間に施工します。
- ②たるきの間隔は、遮断ルーフGrの対応モジュールとします。



- ③たるきのサイズは、遮断ルーフGrのサイズに合わせ
断熱厚30mmを使用する場合は45×60 ・ 38×89
断熱厚60mmを使用する場合は45×90 ・ 38×89
を使用することを推奨します。

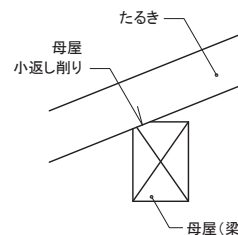
※遮断ルーフGrの総厚さより、たるきのせいが高い場合、
手順⑤の際にタルキ側面に受け材等が必要となります。



- ④遮断ルーフGrの納まり上、たるき欠き・母屋欠きをしない施工を標準とします。

垂木欠き・母屋欠きをした場合、断熱材に加工が必要になり断熱欠損の恐れがあるので、母屋欠きしない方法を標準施工としています。(残りの垂木せいが確保出来ていれば、垂木上端に合わせるように施工すれば使用出来ます。)

母屋・軒桁を小返し削り加工して対応する方法もあります。
但し、構造断面寸法等、構造設計上の安全について考慮が必要です。



- ⑤たるきの下面にパネル受け材を取り付けます。
- ⑥遮断ルーフGrをたるき間にはめこみ、
断熱層の両端を引き上げ、タッカーでたるきに止め固定します。

